



東中だより

No. 05 令和7年8月29日（金）余市町立東中学校 発行

校訓…「進取」「利他」

学校教育目標

- 自律…自ら考え判断し行動する
- 尊重…多様性を受け入れ対話し解決する
- 創造…豊かな発想で新たな価値を生み出す

2学期始まりました

校長 明 村 秀 之

30日間の夏季休業が終わり、8月25日から2学期がスタートしました。7月から厳しい暑さがずっと続いていましたが、最近は少し暑さが和らぎ、学校の中も過ごしやすくなっています。2学期は84日間あります。自然災害や感染症の影響を受けずに、教育活動が進められることを願っています。



さて、9月1日は防災の日となっております。大正2年（1923年）9月1日に発生し、甚大な被害をもたらした関東大震災に由来し、制定されたそうです。この9月1日を含む、8月30日～9月5日までを防災週間と設定し、防災知識の普及を目的に全国各地でさまざまな催しが行われる予定です。

本校では、9月3日に「1日防災学校」として、余市町役場総務課防災係の方を講師にお迎えし、全学年で防災について学びます。避難所づくりや運営では中高生の協力が大きな実働力となって、役に立った事例が多くあり、今の自分たちにできることは何かを考えるきっかけになると考えております。また、余市川氾濫による洪水のシミュレーションをもとに、避難するにはどこの経路を通れば安全に移動できるのかなどを考える活動もあります。いざ起きたときの心構えや安全な行動について理解する貴重な機会になるものと考えております。

昨年度に役場総務課防災係と連携し、黒川小・東中学校9年間の防災教育計画を作りました。実践を進めながら改善し、今後は余市町小中学校防災教育としてスタンダード化する予定です。



10月3日（金）に今年度の東中祭を予定しております。東中祭の取組を通して身に付けた力を【文化的な活動を通して、発想力や表現力。創造する力】【自ら考え、判断する活動を

通して、実行する力】と設定し、昨年度から取組方法を変更しました。

「研究発表」「芸術制作」「ステージ発表」の3つの部門に自身の希望ごとに分かれて活動を進めます。個人やグループでのアイディアと工夫、そして創り上げていく過程の努力が光り輝くものになるように、教職員が指導助言していきます。

合唱については、学年での取組となります。迫力と表現豊かなハーモニーを響かせてくれることが楽しみです。

7月から取組はスタートしていますが、これから1ヶ月間、本格化します。保護者・地域の皆様におかれましては、ご都合があれば、当日ぜひ足をお運びください。



8月27日（木）に黒川小学校で日本人初の宇宙飛行士であった毛利衛さんの「宇宙の授業」が行われました。前日に行われた懇談会で、毛利さんとお話する機会があり、「これからは微生物に重きを置いた社会が必要です。」というお話を聞きました。北海道新聞後志版(8月29日付)にも掲載されていましたが、人間には40兆の細胞とそれ以上の数の微生物やウイルスが体内に一緒にいるそうです。一人の人間には重さにすると約3kgほど存在しているとおっしゃっていました。科学に疎い私は正直、ざわっとした衝撃を受けました。

「科学技術の進歩で人類はいろいろなことがわかり、これからはっきりとわからなかったものがわかっていくはずです。微生物が分解できるプラスチックの開発など、人類が生き延びるために必要な技術です。これからはそういう技術が生まれていくはずです。」とお話されていたのが印象的であり、未来への期待感が大きく膨らみました。



もしかして…、東中祭の研究発表でも科学に関する発表があり、人類が生き延びることにつながるかも…と想像すると、わくわくします。